



# 龍西だより



令和6年度 学校だより

第6号

令和6年6月13日

熊本市立龍田西小学校

校長 堀下 欣也

## 校長講話「いじめの矢と心」

4日(火)の集会で、子どもたちに次のような話をしました。ご紹介します。文が長く、両面印刷しています。

『今日は、「いじめの矢と心」という話をします。心ってどこにあると思う？頭の中？心臓の近く？心って目に見えません。心は目に見えないけど、今日は分かりやすいように見えるようにしました。これが心とします。そして、これが「いじめの矢」です。

校長先生が、これから、いろいろないじめの矢をこの心に刺します。



### ① 「暴力の矢」

友達をたたいたり、けったりするいじめ。遊ぶふりをして、ふざけてたたいたりけったりすることはいじめです。

### ② 「命令の矢」

友達に“〇〇しろ”と命令して、“できなかつたら友達やめるぞ”など強く要求することはいじめです。友だちがもっている消しゴムや鉛筆などの文房具を“ちょうだい”と強く何度も言ったり、“お菓子をおごって”など要求したりすることもいじめです。

### ③ 「言葉の矢」

友達に“弱虫”“きもい(気持ち悪い)”“かっこつけてる”“死ぬ”などの悪口を言うこと、言葉の暴力もいじめです。

### ④ 「無視と仲間外しの矢」

“〇〇ちゃんとは話すのやめよう”“向こうに逃げよう”“一人ぼっちにさせる”無視や仲間外しもいじめです。

### ⑤ 「嫌がらせとからかいの矢」

友達のものをおかす、友達のおものをこわす、よごすなどの「嫌がらせ」もいじめです。失敗した人を笑ったり、人と違うことを笑ってバカにしたり、しゃべり方や動き方を真似したりする「からかい」もいじめです。

### ⑥ 「ネットを使ったいじめの矢」

タブレットで友達の悪口を書いて広げたり、友達になりすまして勝手にその情報を広げたりすることもいじめです。LINEはずしなどもいじめになります。

いじめられた人の心は、このようにたくさんの「いじめの矢」が刺さっています。このような心を持った人は、これからどうなるでしょう？心が壊れてしまつて学校に行けなくなつたり、家から出られなくなつたりするかもしれません。生きていくのが嫌になつたと、自ら命を絶つ人もいるかもしれません。

このように、いじめの矢が刺さっている友だちが周りにいませんか？もしいたら、このままにしておいていいですか？

心が壊れてしまう前に、いじめの矢を抜かないといけません。でも、いじめの矢は、いじめられている本人は自分で抜くことは難しいのです。では、どうやったらいじめの矢を抜くことができると思いますか？

それは、周りの人の行動です。

○「あなたは一人じゃないよ」と優しく声をかける。

○「大丈夫だよ、私がついているよ、味方だよ」と励ます。

○周りの人が「やめろよ。それはいじめだぞ。だめだよ」と止める。

○見た人が、家族や先生に「〇〇さんが困っています。助けてあげたい」と伝え、相談する。

○いじめで悩んでいる人は一人で悩まず、家の人や先生、友達など話せる人に話す。

○いじめた人が反省をして、「ごめんね。もうしないよ」と謝る。

そうやって、「いじめ」をやめさせるのです。

あなたたちの中で、もし周りに「いじめ」で傷ついている友だちがいたら、声をかけ、励まして、「いじめの矢」を抜いてください。

あなたたちの中で、もし自分がいじめられて困っていたら、お家の人や先生、友達など話せる人に相談をしてください。

あなたたちの中で、もし友達にいじわるやいじめをしている人がいたら、「ごめんね。もうしないよ。」と謝ってください。

もう一度、この心を見てください。いじめの矢を取り除いた後はどうなっていますか？傷跡が残っています。「いじめの矢」を取り除いても、「いじめの傷あと」は残るのです。なかなか消えないのです。大人になっても一生、いじめにあったこの心の傷を忘れることができないかもしれません。

だから、いじめは絶対になくさなければいけないのです。

校長先生は、昔、いじめをした人に話を聞いたことがあります。その人は、「ふざけてやっていた。自分がやったことを自分がされたとしても、気にしないから、そんなにその人が嫌だったとは思わなかった。いじめだとは思わなかった」と言いました。

同じことを言ったりやったりしても「いじめの矢」が心に刺さらない人もいるかもしれません。ちょっとしか刺さらない人もいるし、グサッと刺さる人もいます。

自分はいじめているつもりでなくても、いじめになってしまうことがあります。だから、相手の気持ちを真剣に考えて行動することが大切なのです。

龍田西小学校から、いじめがなくなることを期待しています。

今日は、「いじめの矢と心」という話をしました。

これで、校長先生の話が終わります。』

